



2023年12月14日

各 位

会社名 株式会社データ・アプリケーション  
代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 武志  
(コード番号：3848)

問合せ先 取締役常務執行役員経営企画管理本部長 金子 貴昭  
(電話：03-6370-0909)

## 2024年3月期第2四半期決算 質疑応答集

この質疑応答集は、2023年11月6日(月)の2024年3月期第2四半期決算発表以降において、株主・投資家の皆様からのお問い合わせおよび1on1ミーティングなどにていただいた主なご質問をまとめたものです。当社のご理解を賜る事を目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

### 【業績について】

Q.2Qの全体感について、どのように評価されていますか？

A.サブスクリプション売上の伸長及び特需によるパッケージ売上の大幅な増収があったため、売上高は前年比+31.2%の増加となりました。この増収により、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前第2四半期の実績数値を上回る結果となり、順調に推移しています。

Q. 2024年3月期業績の見通しについて、売上高は、期初計画値26億円に対して、29億円に計画を修正しています。コスト面の戦略的投資について、予定する投資額や、その内訳・詳細など教えてください。

A.特需要因などによって、約2億の売上増が見込まれます。この増収を戦略的に活用すべく、以下3点を目的とした投資を行う予定です。

- ・ 広告宣伝による知名度向上
- ・ 人材増強
- ・ ITシステム強化

EDIを中心とした事業領域での知名度はございますが、データ連携市場をはじめとした新領域への市場展開において、会社の知名度を上げていく必要があるため、TVCMなどをはじめとした、前例のない規模の広告宣伝活動を実施予定です。

また、自社パッケージソフトの開発ベンダーである当社にとって成長の軸は「人」であるこ

とから、採用・教育といった人材に関する投資や、新オフィス移転（12月予定）をトリガーに、ハイブリッドワークの更なる定着を目的としたシステム強化など、未来へ向けた投資を積極的に行う予定です。

**Q.利益について、2024年3月期第2四半期で当初の通期計画を超過しているにもかかわらず、2024年3月期第2四半期実績と2024年3月期の見通しがほぼ同じなのはなぜでしょうか。**

A.次年度から開始する次期中期経営計画や、その後の成長を見据えた場合、今、投資すべきと判断した3つの目的（広告宣伝による知名度向上、人材増強、ITシステム強化）に重点投資し、中長期的な企業価値向上を推進してまいります。

**Q.パッケージの大型受注は、来期も同様に発生するのでしょうか？**

A. サブスクリプションでの提案が売り切り（パッケージ）にて受注された結果ですが、一過性のため、来期以降の受注に関しては、不確実性が高く明言できません。

#### **【市場環境について】**

**Q. 生成AIが台頭してきた場合、追い風か、向かい風か、どちらでしょうか？**

A.一概に申し上げることはできませんが、当社として注力すべき分野であることは間違いございませんので、継続的に注視し、今後の研究開発活動などに活かしてまいります。しかしながら当社のみでは限界もあることから、アライアンスも積極的に検討中です。

#### **【製品について】**

**Q.新製品について、進捗を教えてください。**

A.詳細・具体的な特徴については、皆様にお伝えできる段階になりましたら、改めて正式にご説明させていただきます。

**Q.全ライセンスのサブスクリプション化について、詳しく教えてください。**

A. 前向きに検討中であり、今後展開していく予定です。

#### **【IRについて】**

**Q. 次の中期経営計画について、詳しく教えてください。**

A. 現在、策定中です。来期の早い段階で、正式にお知らせする準備が整いましたら、お知らせする予定です。

#### **【採用について】**

**Q. 採用のHPもリニューアルオープンされましたが、採用の状況はいかがでしょう。**

A. 引き続き厳しい環境であることに変わりはありませんが、営業系のハイスペックな人材の採用において、業績連動(インセンティブ)要素を強くした報酬制度を導入しました。また社員紹介制度(リファラル採用)も継続的に実施した結果、採用数も増加しつつあります。

### 【その他】

Q. 11月15日に「2024年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」を出しましたが、なぜこのタイミングだったのでしょうか。

A. 当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、長期にわたり継続した研究開発投資を必要とする当社の事業特性から、短期的な業績指標に基づくものではなく、財務体質の強化と長期的な企業価値の向上を踏まえたものでありたいという考えのもと、株主資本配当率(DOE)3.5%の水準を目安に安定的かつ継続的に配当を行うことを方針としております。11月6日に業績予想の修正に関するお知らせを公開後、準備等を行った結果、このタイミングとなりました。

以上

【株式会社データ・アプリケーション (DAL) について】 (<https://www.dal.co.jp/>)

DALは、1992年にUNIX向けの製品をリリースして以来、EDI(電子データ交換)を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS(Advanced Communication Management System)シリーズ」を提供してきました。「ACMSシリーズ」は、国内のEDIパッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに2,933社14,571サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

【HP】 <https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】 [https://twitter.com/dal\\_acms](https://twitter.com/dal_acms)

【note】 <https://note.com/dataapplications/>

<本件についてのお問い合わせ先>

経営企画管理本部
E-Mail : <a href="mailto:ir@dal.co.jp">ir@dal.co.jp</a>
Tel : 03-6370-0909

※現在、働き方改革の観点から、在宅勤務と出社のハイブリッド勤務推奨のため、お電話でのお問い合わせの場合、折り返しのお電話になりますことをご了承下さい。

※当資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。また、会社の業績に影響を与え得る事項の詳細内容につきましては、決算短信の「事業等のリスク」をご参照下さい。しかしながら、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E<sup>2</sup>X, WebFramer, RACCOON, OCRtran は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。